

(変更)案件概要表

2022年2月28日

| I. 提案事業の概要 | |
|-------------------------|---|
| 1. 対象国名 | エクアドル共和国 |
| 2. 事業名 | エクアドル共和国ピチンチャ県カヤンベ市の学校菜園と学校給食の実施を通じた子ども達の学校生活改善プロジェクト |
| 3. 事業の背景と必要性 | エクアドル共和国の対象地を含む周辺地域での 2016 年の貧困率は 52.6%に上っている。本事業の対象地であるピチンチャ県カヤンベ市の 2 つの地区は、先住民率が高い地域であり人々の貧困状況は特に厳しい。標高の高い遠隔地に点在する村が多く交通の便も悪く食生活も偏っている。子ども達は栄養不足、炭水化物や脂肪に偏った食事のために貧血が多いことが懸念されている。このような状況に対応するため政府は配布効率の良いシリアルバーと乳飲料を配給するようになった。しかしこの時期の子どもは栄養必要量が多いことや、子ども達の多くが朝食を摂らずに 1 時間以上歩いて登下校しており、子ども達が健康に生活するための栄養価としてはなお不足している。保護者の栄養の知識や食への意識を育て、学校菜園への農作業参加、給食の調理、給食費を払う、食材の提供など、それぞれの地域にあった形での保護者の参加を促し、伝統作物や新鮮な葉物野菜などの食材による満足な栄養を摂取できる給食を安定して提供することで、子ども達が空腹を感じることなく健康な学校生活を送れるようになることは、子ども達はもとよりその家庭にとって切実なニーズとなっている。 |
| 4. プロジェクト目標 | 対象校において学校菜園と学校給食の実施により、子ども達が栄養面でより健康的な学校生活を送れるようになる |
| 5. 対象地域 | カヤンベ市カンガウア地区およびオルメド地区 |
| 6. 受益者層 (ターゲットグループ) | 対象地域の 6 校の 3 歳から 12 歳までの子どもたち約 800 人 |
| 7. 生み出すべきアウト プット及び活動 | <p><アウトプット></p> <p>(1) 持続可能な学校給食の実施のための協議会が事業実施校 6 校で、また、委員会が各学校で組織される</p> <p>(2) 子ども達の食の改善のために、対象校の学校菜園の実施とその収穫物の給食への使用が促進される</p> <p>(3) 対象校の子ども達の栄養状態が改善される基盤ができる</p> <p>(4) 事業の成果を関係機関と共有する</p> <p><活動></p> <p>(1) 学校給食の実施とそれを目指したプロセスを定着させるための、6 校合同の学校給食連絡協議会と各校での学校給食委員会を設置し定期的に開催する</p> <p>(2) 食への理解と学校給食実施を支えるための学校菜園の実施を目指し、保護者や教師等を対象にした農業、栄養をテーマとした講座を実施する</p> <p>(3) 子どもの栄養についての認識を高め、学校給食の質を改善することを目指し、保護者を対象とした調理実習の実施や給食の記録の支援、および衛生をテーマとした講習を実施する</p> <p>(4) 事業成果の関係機関との共有を通じて、課題の明確化および事業改善を行い、事業成果の拡大に繋げる</p> |
| 8. 実施期間 | (西暦) 2019 年 3 月 ~ 2022 年 7 月 (3 年 5 ヶ月) |
| 9. 事業費概算額 | 12,279 千円 |
| 10. 事業の実施体制 | <p>【日本側】</p> <p>プロジェクトマネジャー 1 名、短期専門家 2 名、経理、現地指導者育成担当 1 名、国内経理補佐 1 名</p> <p>【エクアドル側】</p> <p>現地事業統括責任者 1 名、現地事業副責任者 1 名、現地調整・報告者 1 名</p> |
| II. 応募団体の概要 | |
| 1. 団体名 | 特定非営利活動法人エクアドルの子どものための友人の会 (SANE) |
| 2. 活動内容 | 1989 年の設立より教育を通してエクアドルの人々に協力するという目的で、キト市、カヤンベ市、クエジャハ地区の中高校生への奨学金支援 (233 名)、同地域の学校施設建設修理、2002 年よりカヤンベ市における学校菜園事業、他に学校とその周辺の植林事業などを行う。 |